

平成23年3月期 決算説明会Q&A

Q: 3Qから4Qで、計測事業は売上高増も営業利益は横ばいだった理由は？
また、計測の売上高が増加している中で今期の利益が横ばいになる理由は？

4Qについては、LTE関連の計測事業は堅調だったが、R&D費の増加や震災に関わる修繕費の計上により利益は横ばいとなった。

A: 今期は開発需要に加えて製造需要が順調に拡大するが、それに伴うR&D費やサポート費用の増加により、利益は横ばいを計画している。中期経営計画に沿って順調に進捗している。

Q: サポート体制強化について教えてほしい。

海外の通信事業者や端末・チップセットベンダーと密接な関係を維持しながら、ビジネス拡大

A: 大を目指していくためには、計測機能に関わる開発サポートや生産工場での量産・メンテナンスサポートが必要になる。今期はこれらのサポート体制を強化する計画である。

Q: 中国3Gの状況について教えてほしい。

FY2010の通信事業者の計測需要は堅調であり、今期も堅調と見ている。

A: 世界の端末生産工場としては製造需要は増大しており、計測ビジネスとして顧客層も拡大している。

Q: 震災後の復旧状況と今期業績への影響について教えてほしい。

・生産ラインは3月内に全て復旧し、通常状態で稼働している。

A: ・今期業績への影響については、部品調達が課題になっている。Q1は部品の手当てが出来ているが、Q2以降については調査中である。